

胃腸で吸収された栄養やアルコール・毒素などは血液による肝臓へ運ばれます。肝臓は、右胸の肋骨（ろつこつ）の下端にあります。成人では約1・2kg、縦は約15cm、横は約25cm、厚さ約10cmのほぼ直角三角形、体内では最も重く最大で、全身の血液の約12%が存在する暗赤色の臓器です。

肝臓には肝動脈と肝静脈、門脈が通っています。肝動脈は肝臓が働くのに必要な酸素を補給し、門脈は胃・腸から吸収した栄養素や毒素などを肝臓に運び込みます。肝臓には約3000億個の細胞があり、約50万個ずつが1mm四方の塊になった肝小葉（かんしょうよう）と呼ばれる集団を作り、これらの間を大樹のよう

に枝分かれした血管が走

心と からだの栄養

能岡 浩 [35]

肝臓は体内の化学工場

細胞は壊れても自動的に修復

各部分)へ運び出す。

います。しかし肝細胞は検診で「精密検査が必要」

◆解毒(げどく)＝胃腸で吸収したアルコール・

います。さらに肝細胞は一つ一つが同じ働きなので、肝臓の半分以上を切り取ると、検診で「精密検査が必要」と言われ、肝臓ガンが目つきかり、絶望と恐怖の中

は約3000億個の細胞があり、約50万個ずつが

交換をした血液は、肝小葉の中心を流れる肝静脈

1 mm四方の塊になつた肝小葉（かんしょうよう）

から心臓へ、ついで体内へ運ばれて行きます。

と呼ばれる集団を作り、これらの間を大樹のよう

肝臓は「体内の化學工場」と言われ、その働き

◆胆汁の生産＝小腸で油質（脂質）を消化吸収する。

性肝炎」以外は、
悪くならない限り自覚症
状が現れず、肝臓は「沈

らなかつた。多忙で無理をし、酒を飲み過ぎた」とも度々あつたが、体は

を克服できたようです。
（大阪府立看護大学医療
技術短期大学部・助教授）

つています。門脈により肝臓へ運ばれた栄養素は肝動脈から供給された酸素と混ざり、枝分かれした無数の毛細血管に入ります。そして、肝細胞との間で栄養素や老廃物の

◆分解と合成＝胃腸で消化・吸収された栄養素や働きを終えたホルモンなどは、門脈により肝臓へ運び込まれる。肝臓では、これらの成分を分解・貯蔵・再合成し、再び肝静脈の血液により体内のは次の三つです。

るのに必要な胆汁を作り、(肝臓の下側に付いて)胆のうに貯蔵する。肝臓の組織が有害物に壊されても、肝細胞は自動的に増幅し始め、その部分を修復します。ふだん肝臓は、全能力の20~30%しか働いておらず、大部分の肝細胞は休んで

黙の臓器」と言われます。昔は「肝臓の病気は酒が原因」と言わされました。現在、日本の患者の約80%は「輸血や針などから感染した肝炎ウイルス」が原因と分かりました。

53歳のK男さんは三年前、食後、上腹部に軽い痛みを感じ、会社の定期

悲鳴も上げずに黙つて耐えてくれたんだ」と思い至つたそうです。その後『もっと生きたい』と、肝臓の約70%を切り取る手術を受け、入院中は気分の良い時に小児患者の遊び相手や寝たきり病人の世話をなどをして過ごし、一年後には職場へ戻れ

悲鳴も上げずに黙って耐えてくれたんだ」と思い至ったそうです。その後『もっと生きたい』と、肝臓の約70%を切り取る手術を受け、入院中は気分の良い時に小児患者の遊び相手や寝たきり病人の世話をなどをして過ごして、一年後には職場へ戻れ、その後の検査で「再発の心配は無い」との結果が出ました。死の恐怖・不安を経験したK男さんは『生かされている自分』に気づき、お釈迦様のお言葉『天上天下唯我独尊（てんじょううてんげゆいがどくそん）』地球上で、ただ一人の私の尊い命）を知り、「頂いた命を最もに生き尽くそう」と決意したからこそ、ガンを克服できたようです。